



やまべ



令和8年
2月2日発行
第10号

閉校の節目を地域とともに迎えるにあたり

校長 大貫 弘敏

立春の候、地域の皆さま、保護者の皆さまには、日頃より本校の教育活動に格別のご理解とご支援を賜り、心より御礼申し上げます。寒さの中にも春の兆しを感じられるこの時期、子どもたちは日々の学びに真摯に向き合い、互いに励まし合いながら成長を重ねております。

日立市立山部小学校は、「ふるさと山部を愛し 広い視野をもって 心豊かにたくましく生きる 山部っ子の育成」を学校教育目標に掲げ、地域と共にある学校として教育活動を展開してきました。特にこの2年間は、閉校と次年度の統合による「十王小学校」新設という大きな変化を見据え、児童の自尊感情や地域愛着を高めることに心血を注いできました。その成果として、学びの中には「できた」「わかった」があふれ、子どもたちが自分の強みを存分に発揮できる学校へと成長しています。アンケートでも「山部が好き」「授業が楽しい」「目標をもって取り組んでいる」「進んで挨拶ができる」「まわりの人を大切にできる」などの項目がいずれも100%という結果が示され、学習・生活の両面で満足度や達成感の高さがうかがえます。これらは、小規模校の強みを生かした個別支援や異学年活動、地域連携の充実、そして地域・保護者の皆さまの温かいご支援の賜物です。

本校は令和7年度末をもって櫛形小学校と統合し、新たに「十王小学校」として歩みを進めます。山部小として過ごす時間は残り少なくなりましたが、地域の自然や文化、人の温かさに育まれた子どもたちの姿には、山部で培われた誇りと確かな成長が感じられます。地域の皆さまに寄り添っていただいた日々が、子どもたちの中で揺るぎない“原点”として息づいていることを、改めて深く実感しております。

2月13日には今年度最後の授業参観を実施いたします。仲間とともに学びを深め、自らの思いを表現しようとする子どもたちの姿をぜひご覧ください。また、2月21日に日立シビックセンターで開催される「日立市青少年健全育成のための市民の集い」では、山部小児童が受け継がれてきた「山部ソーラン」を力強く披露いたします。さらに、3月23日には「山部小学校閉校式」を挙行いたします。151年にわたり地域とともに歩んできた本校の歴史を振り返り、児童・保護者・教職員・学校関係者、そしてかつて山部小で学ばれた皆さまとともに、学び舎との別れの時を共有する大切な機会となります。地域の皆さまにもぜひご臨席賜り、山部小学校の歩みを温かく見届けていただければ幸甚に存じます。

山部小学校は、地域の皆さまに支えられ、地域とともに歩んできた学校です。学び舎は変わっても、「山部っ子」として育まれた誇りや優しさ、地域愛は、これからも子どもたちの中で確かな“軸”となり、未来へと受け継がれていくことでしょう。閉校までの残された日々を、子どもたちにとってかけがえのない記憶として刻めるよう、教職員一同、誇りと責任をもって教育活動に取り組んでまいります。今後とも変わらぬご支援を賜りますようお願い申し上げます。

山部小で学ぶ「山部っ子」の生き生きした姿をぜひご覧ください。
引き続き山部っ子に応援いただけますよう、よろしく願いいたします。

学校ホームページ <https://hitachi-yamabe-e.edumap.jp/>

